

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	帝京平成大学	学部・学科名 ※	健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科
科目名 ※	スポーツ社会学	単位数 ※	2単位
開講学期 ※	後期	曜日・時限 ※	木曜日1限
キャンパス ※	千葉キャンパス	教室 ※	6-205
学修分野			
授業目的 ※	本授業は、近代社会におけるスポーツの特徴や意義・役割について概説する。またこれからのスポーツ振興のあり方や方法についても概説する。		
到達目標	スポーツを社会現象として捉え、社会との関係からスポーツの特徴やあり方について説明できるようになる。さらに地域のスポーツ振興についても興味を持てるようになる。		
授業内容 授業形態 ※	本授業では、まずスポーツの概念や歴史から学ぶ。さらにスポーツ振興に重要な役割を果たす総合型地域スポーツクラブを通じて地域のスポーツ振興についても学ぶ。 また、スポーツ指導における法的責任や人権、政治、資格を通じてこれからのスポーツ振興について学ぶ。 授業の後半は、講義だけでなくグループワークを中心に行う。		
評価方法 ※	毎回の授業内小レポートとmanabaを活用した授業外学習（50%）及び定期試験に代わる授業外レポート（50%）とし、総合的に評価する。		
評価基準			
テキスト			
注意事項			
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学短期大学部	学部・学科名 ※	こども学科
科目名 ※	歴史への旅	単位数 ※	2
開講学期 ※	後期	曜日・時限 ※	木・3
キャンパス ※	千葉経済大学短期大学部	教室 ※	304
学修分野	卒業認定・学位授与の方針中の一般教養科目に位置づけられる。		
授業目的 ※	氷河が溶けて日本列島が誕生して以降、この国でどのような出来事が起きたのでしょうか。それぞれの時代の人々は、どう生きてどう考えて、なにを生み出してきたのでしょうか。歴史のなかには、為政者の試行錯誤があり、権力者の欲望や嫉妬があり、民衆の苦難や生活や知恵があり、諸外国との関係があります。制度や法律、優れた知恵や技、時代ごとの美意識や表現、時代を動かす大きな流れもあります。私たちはそこから学び、いまに活かすことができます。本講は暗記する歴史の授業ではなく、歴史を手がかりに考える授業です。原始から近代まで日本の歴史を大きく概観し、各時代の特徴をおさえながら、教育や子どもを含むいくつかの出来事・人・テーマを掘り下げて共に考えていきます。		
到達目標	歴史の面白さや大切さを知る。異なる時空間に生きた人々に会い、理解し、考える仕方を学ぶ。基礎的な知識を身につけて歴史から学び、歴史的に考えるための基盤を作る。歴史をいまに活かす視点、自分なりに考えていくための問いを育む。		
授業内容 授業形態 ※	<p>第1回 イン트로ダクションー旅の始まり</p> <p>第2回 人類の誕生と移動ー日本人はどこから来たのか</p> <p>第3回 原始を生きた人々ー縄文・弥生時代から考える</p> <p>第4回 言葉と共に生きるー文字の伝来・言霊思想・万葉仮名</p> <p>第5回 国をつくる①ーリーダー・資源・大陸文化の受容</p> <p>第6回 国をつくる②ー仏教・中央集権・律令体制</p> <p>第7回 不安な平安貴族たちー遷都・仏教・もののけ</p> <p>第8回 庶民を支えた鎌倉新仏教ー武士と戦乱の時代</p> <p>第9回 戦国の世ー新しい秩序とリーダー</p> <p>第10回 戦国の美意識と服装の歴史ーなぜ人は服装にこだわるのか</p> <p>第11回 江戸の国づくり人づくり①ー徳川家康と近世封建体制</p> <p>第12回 江戸の国づくり人づくり②ー参勤交代と判じ絵</p> <p>第13回 近代国家をつくるー明治期の教育制度・翻訳・標準語</p> <p>第14回 戦争・メディア・悪ー2度の世界大戦と「私」</p> <p>第15回 旅の終わり、旅の始まりー史に埋もれ歴に生きた人々の横顔</p>		
評価方法 ※	平常点（受講態度、授業への積極的参加度、リアクションペーパーなど）50%、期末レポート50%を標準として、総合的に判断します。		
評価基準			
テキスト	指定なし		
注意事項	リアクションペーパーやディスカッションの時間も設けて、それぞれが考える時間を大事にしながらか授業を進める予定です。おおいに考え、問いをもち、意見を述べ、歴史を学ぶことを積極的に楽しんでください。また、授業内で配布された資料は本授業専用のファイルを用意して管理することが望ましいです。		
授業シラバス	https://syllabus.cku.ac.jp/Syllabus/SyllabusConfirm.asp?cdsl=3020&nendo=2023		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉敬愛短期大学	学部・学科名 ※	現代子ども学科
科目名 ※	健康運動科学	単位数 ※	1
開講学期 ※	後期	曜日・時限 ※	木・4
キャンパス ※	佐倉	教室 ※	205
学修分野			
授業目的 ※	この授業では、自身の健康や身体について、体育の観点から学ぶことを目的として、以下のようなねらいと到達目標を設定する。		
到達目標	<p>1) 健康について運動や栄養、社会などの様々な視点からアプローチし、自身の心と身体についての理解を深め、自身の生活スタイルや考え方を見つめ直す(自己管理・生涯学習)。</p> <p>2) 健康を取り巻く社会的問題を把握し、保育者・指導者として必要な知識・思考法・能力を身につけ、主体的な解決方法を見出すことができる(保育に関する知識)。</p> <p>3) 授業で学んだことをふまえながら、自身や子どもたちにおける「健康」の現代的課題について考え、他者と協働して課題解決をすることができる(コミュニケーション力・チームワーク・課題解決力)。</p>		
授業内容 授業形態 ※	<p>視覚教材を用いることで、「健康」に関する最新の研究データや情報を用い、講義形式で授業を展開していく。</p> <p>自己分析や資料分析、他者との意見交換などのグループワークを取り入れ、自身の意見やグループの意見をまとめ、発表する。発表に対しては学生同士でもフィードバックを行う。他者の意見を受入れたり、検討したりすることで自身の価値観や考えの変容・深まりを体験する。</p>		
評価方法 ※	受講時課題30%、提出物(レポート)20%、試験50%		
評価基準			
テキスト			
注意事項			
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	敬愛大学	学部・学科名 ※	経済・国際・教育学部
科目名 ※	歴史学	単位数 ※	2
開講学期 ※	後期	曜日・時限 ※	木曜・5限
キャンパス ※	稲毛キャンパス	教室 ※	—
学修分野			
授業目的 ※	本授業のねらいは、「国際的な視野で多様な共生社会の課題に取り組む能力(DP.CP2)」を身につけるため、「歴史とは何か」「歴史を学ぶ意義」を問いながら、今後新しく展開される近現代史の論点を知ることにあります。		
到達目標	到達目標は、歴史の連続性や歴史の同時代性の視点から現在の日本、及び国際情勢を理解し、課題を発見し、自分自身の言葉で説明できることにあります。		
授業内容 授業形態 ※	リアクションペーパー、数回の小テストをおこないます。また、学期末には授業の理解を確認するテストを行います。リアクションペーパーや小テストは、コメントをつけて、返却します。 対面形式		
評価方法 ※	①授業への取り組み・小テスト、 ②学期末確認テスト		
評価基準	①授業への取り組み・小テスト(40%) ②学期末確認テスト(60%)		
テキスト	本授業の内容は、多分野にわたるため、教科書は指定しません。 授業用に作成した講義ノート及び資料を配布し、教科書の代わりとします。		
注意事項			
授業シラバス	本学ポータルサイト「Keiai Campus Navigator」で確認すること。 https://kcn.u-keiai.ac.jp/uprx/ トップ画面の「シラバス照会」から検索する。		

※は必須記入事項